

旅立ちの日に贈る言葉



学長 榮坂 俊雄

卒業生、修了生の皆さんの学位取得を心からお祝いします。皆さんが様々な課題に関心を持ち、誠実に取り組み、苦難を乗り越えて得た成果と充実感・達成感を、是非、社会での挑戦の力の源にしてください。本学で過ごした時間は、皆さんにとって幸せな時代であったと信じます。その幸せがこれからも続いてほしいと願っています。そのためには学び続けることが大切です。皆さんは本学での様々な活動を通じて「学ぶ」ということの厳しさと楽しさを体験し、学びを通じて自身の成長を実感しました。この貴重な体験を大学で終わりにするのでは無く、これからの人生でさらに磨きをかけてください。本学もまた皆さんの故郷として学び続け、成長し続けます。

地球環境工学科長 森田 慎一

卒業生・修了生の皆さん、この特別な日を迎えられたことに心よりお祝い申し上げます。在学中、皆さんは新型コロナウイルスによる困難やオンライン授業への対応など、予期せぬ挑戦を経験しました。その中で得た柔軟性や粘り強さ、問題を乗り越える力は、これからの人生においても大きな財産となるでしょう。

また、大学生活で築いた友人との絆は、皆さんの宝物です。共に学び、悩み、励まし合った日々を思い出し、その関係をこれからも大切にしてください。友人との絆は、困難な時に力を与え、人生を豊かにしてくれる大切な支えとなるはずです。

社会に飛び立つ皆さんには、技術者や研究者として、より良い未来を創造する役割が期待されています。失敗を恐れず、学び続け、自分自身を高めてください。そして、北見工業大学で育んだ力と人との繋がりを胸に、どこへ行っても信頼される存在として輝いてください。

皆さんの未来が希望と成功に満ちたものであることを、心から願っています。



地域未来デザイン工学科長 新井 博文

ご卒業・学位取得、誠におめでとうございませう。皆さまがこれまで努力を重ね、数々の試練を乗り越えて今日という輝かしい門出の日を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。皆さまは、大学での学びを通じて課題を発見し、論理的に解決するための思考力や技術力を培ってきました。また、多様な背景を持つ人々との交流を通じて、異なる価値観に触れ、視野を広げる貴重な経験を重ねてこられたことと思います。このような経験は、急速に変化し多様化する現代社会において、きわめて重要な基盤となることでしょう。皆さまが専攻された分野の知識やスキルは、必ずしもすぐ実践的な価値を発揮するとは限りませんが、大学で培った学びの姿勢や経験の全ては、生涯にわたり、皆さまの力となり、道しるべとなることでしょう。今日ここから巣立つ皆さま一人ひとりが、それぞれの道で目標を達成し、夢を実現されることを心よりお祈り申し上げます。

工学専攻主任 八久保 晶弘

卒業生、そして修了生の皆様方、ご卒業・ご修了おめでとうございませう。新型コロナウイルスの影響を少なからず受けた世代として、大学生活の上でも様々な苦難があっただろう、と想像します。でもその中でも、きっと楽しいこともあったはずだ。20年後、30年後に間違いなく気づくと断言できますが、大学（+大学院）の4年ないし6年間は、人生において濃密な、かけがえのない時間です。入学時の自分と比べて、自分は成長したな！と実感できますか？成人だけど学生、という微妙な立ち位置の大学生から、名実ともに自ら働き稼いで生きていく社会人になります。社会に出ると苦難の連続でしょうが、その中で楽しみを見つけ、大学生活で学んだことを糧として、仲間と一緒にさらに成長し続けていくことを願ってやみませう。今後は社会人として、ますますご活躍されることを期待しています。



在 学 生 の 皆 様 へ



卒業生：エネルギー総合工学コース 小野寺 優

大学生活の4年間は、思っているよりもあっという間に過ぎていきます。この限られた時間をどう過ごすかによって、その後の人生が大きく変わることもあります。勉強や研究、サークル活動、趣味など、さまざまなことに積極的に挑戦してみてください。そうした経験が、将来の選択肢を広げるきっかけになるはずです。皆さんが実りのある学生生活を送れることを願っています。

卒業生：環境防災工学コース 神山 大地



私の大学生活で過ごした4年間はとても充実したものでした。学友と出会い、ともに切磋琢磨しながら学校生活を送ることができました。この大学だからこそ得られた貴重な体験が多く、これは将来の人生において大きな財産になると思います。最後に皆さんが様々なことに興味関心を持ち、広い視野を持って生活を送っていけることを願っています。



卒業生：機械知能・生体工学コース 原山 海

思い浮かべると大学生活はとても短かったです。皆さんには、今しかできないことを見つけて、一生懸命取り組んで欲しいと思っています。上手くいく時やいかない時があるかもしれませんが、すべての経験がとても大切なものとなります。在校生の皆さん、大学生活の一瞬一瞬を楽しんでください。そして、多くの経験から、自分を成長させていきましょう！

卒業生：情報デザイン・コミュニケーション工学コース 山崎 楽斗

4年間の大学生活を振り返ると、自分が最も成長できたのは新しいことに挑戦したときでした。最初は不安もあると思いますが、興味があることには迷わず挑戦してみましょう。そして、すると決めたら全力で取り組んでみてください。その努力は必ず皆さんの成長につながります。皆さんが充実した大学生活を送れるよう応援しています。



修了生：機械電気工学プログラム 片山 明彦



振り返ると時間を自由に使える事は大学生の特権だと思います。サークルでスノーボードに挑戦し、アルバイトで農作物の収穫を経験して仲間ができました。バイク免許を取得して道内・道外を走りました。研究ではものづくりや課題に対する姿勢や積極性が身につきました。後悔のない大学生活を送り、大いに楽しんで下さい。

修了生：社会環境工学プログラム BISWAS BARNALI

Every individual is unique, and embracing this uniqueness drives innovation in higher studies. Self-belief fuels the research journey, while university opportunities enhance one's capabilities. In my master's, I chose courses matching my interests, supported by dedicated teachers who ensured language was never a barrier. I faced countless failures during research, but lab support and constructive guidance helped me see them as opportunities for better solutions, shaping a lifelong mindset. My lab mates' teamwork turned challenges into memorable experiences, making university life enjoyable through friendly behave. Above all, my family's unwavering support has been my strength.



修了生：情報通信工学プログラム 平塚 心太郎



6年間の在学期間の中で、特に私は、研究室配属後の3年間で濃密な時間を過ごすことができました。大学生活は、数年間をかけて1つの物事に取り組める人生でも数少ない期間だと思います。みなさんもぜひ、社会人へのモラトリウムだと思わずに“本気で”挑戦する楽しさと興奮を味わいましょう。

修了生：応用化学プログラム 吉野 敦仁

大学生活は長いように見えて、ポーっと過ごしているとあっという間に終わってしまいます。大学での研究活動はじめサークルやバイト、市民団体活動など、何事も自ら率先して色々なコミュニティに携わっていくことで、充実した学生生活を送ることができます。在学生の皆様がどうか実り豊かなものになりますことを祈念しています。



修了生：マネジメント工学プログラム 村中 海斗



北見での6年間、楽しい日々でした。3年間の研究生活では多くのことを学び、社会に出るのが楽しみです。先生方は親身になって疑問に答えてくれます。私も後輩にとってそんな存在になりたいです。学生生活は挑戦の連続です。辛いことも多いですが、様々な経験を通して大きく成長できる期間だと思います。頑張ってください！

学 部

■エネルギー総合工学コース

JFEプラントエンジ、アテック、いすゞエンジン製造北海道、いすゞ北海道試験場、市光工業、関電工、極東証券、きんでん、警察庁、国税庁、国土交通省東北地方整備局、三機工業、三共電気工業、三建設備工業、シーアールイー、武ダ技建創、竹田設計工業、デンソーエレクトロニクス、ドゥウェル、東京エレクトロン、東北自然エネルギー、東北発電工業、東北容器工業、西田鉄工、日鉄住金パイプライン&エンジニアリング、日本駐車場開発、防衛省、北海道庁、前川製作所、三菱自動車工業、三菱電機ビルソリューションズ、山形おきたま農業協同組合

■環境防災工学コース

青森県庁、旭川市役所、磯部塗装、エーティック、奥村組、鹿島建設、機械開発北旺、北広島市役所、北見市役所、鴻池組、国土交通省北海道開発局、清水建設、四門、ショーボンド建設、新日本設計、仙台市役所、大日本タイヤコンサルタント、東京消防庁、東洋建設、戸田建設、中神戸木設計事務所、那覇市役所、日本高压コンクリート、日本工営、農土コンサル、美幌町役場、豊水設計、北開水工コンサルタント、北海道キング設計、南富良野町役場、宮坂建設工業

■先端材料物質工学コース

NUT'S WAREHOUSE、岩手県庁、川金ホールディングス、北ひろしま福祉会、スタッフサービス、デンソー岩手、文化シャッター、北陸電気工業、ホンダ部品販売、マクスエエンジニアリング、マルマテクニカ

■機械知能・生体工学コース

AIS北海道、AKKODISコンサルティング、ANA福岡空港、BEX、PLAN-B、SWS東日本、TIS東北、旭イノベックス、中セキ北海道、エイチエルシー、エスユーエス、エン・ジャパン、北日本精機、北見市役所、九電テクノシステムズ、酒井医療、三恵技研工業、シーエスアイ、シンセメック、スタッフサービス、タチエス、伊達市役所、立山オートマシンマレーシア、田中組、トヨタ自動車、西村組、ニッコー、日産オートモーティブテクノロジー、ニプロ、ハイレックスコーポレーション、パナソニックITS、フジバングループ本社、北海道ジェイ・アール・システム開発、三浦工業、三菱製鋼、三菱電機ビルソリューションズ、山形県庁

■情報デザイン・コミュニケーション工学コース

DNP情報システム、DXC Technology Malaysia、NTTデータMSE、OKIソフトウェア、U-NEXT HOLDINGS、アイシン・ソフトウェア、アクティオ、インブル、エスユーエス、エヌ・ティ・ティ・エムイー、エバークリーン、帯広市役所、神田通信機、協和エクシオ、ゲオホールディングス、建設システム、静岡県警察、スタッフサービス、住電装ブラテック、セイコーシステムエンジニアリング、ソフトクリエイイトホールディングス、第一コンピュータリソース、大新技研、つうけん、つうけんアドバンスシステムズ、デンソーエレクトロニクス、デンソーテクノ、トインクス、函館市役所、プリマジェスト、北海道総合通信網、北海道庁、北海道旅客鉄道、森永乳業、由良ドック、ロバパン

■社会インフラ工学コース

イーエス総合研究所、エヌ・ティ・ティ・インフラネット、愛媛県庁、川田建設、釧路市役所、こぶし建設、五洋建設、シー・イー・サービス、昭和土木設計、タカヤ、竹中土木、鉄建建設、東亜建設工業、東洋建設、新潟県庁、西尾市役所、日鉄テックスエンジ、日本高压コンクリート、萩原建設工業、パシフィックコンサルタンツ、浜松市役所、ひので、丸彦渡辺建設、りんかい日産建設

■バイオ食品工学コース

アウトソーシングテクノロジー、アルプス技研、オルビス、新光商事LSIデザインセンター、東京機材工業、日糧製パン、日特建設、日本貨物鉄道、日本パリソン、ベオスアイティーホールディングス、北海道曹達、北海道パワーエンジニアリング、モリタン

■地域マネジメント工学コース

青森県庁、旭イノベックス、帯広市川西農業協同組合、セトウチ、東京エレクトロン、トヨタカスタマイジング&ディベロップメント、パーソルビジネスプロセスデザイン、洋野町役場、プラスアルファ・コンサルティング、前田道路

■情報通信工学プログラム

OKIソフトウェア、UTグループ、キオクシアシステムズ、スーパーソフトウェア、住友大阪セメント、住友電気工業、ソフトクリエイイトホールディングス、ダイヤモンドヘッド、大日本印刷、ナリコエンタープライズ

■応用化学プログラム

MARUWA、NTTアノードエナジー、朝日インテック、アステックペイント、東組、大槻理化学、コロワイドMD、新日本空調、シンフォニアテクノロジー、高砂熱学工業、タンガロイ、テクノプロR&D社、天龍製鋸、トーカロ、東研サーモテック、巴商会、ニコンシステム、ニプロ、日本原燃、日立ハイテク、ヒロセ電機、ホクレン農業協同組合連合会、マクセル、松田産業、三浦工業、メイコー、リケン、ワールドインテック

■マネジメント工学プログラム

アース環境サービス、日立建機

進路状況【学部】

区 分	卒業 予定者 数	進 学 者 数	就 職 者 数	専 門 学 校 ・ 帰 国	自 営 業 ・ 研 究 生	未 定 ・ そ の 他
コース						
エネ ル ギ ー 総 合 工 学 コース	78 (2)	36 (2)	33 (0)	1 (0)	8 (0)	
環 境 防 災 工 学 コース (※1)	66 (7)	26 (4)	33 (2)	2 (0)	5 (1)	
先 端 材 料 物 質 工 学 コース	29 (6)	17 (5)	11 (1)	0 (0)	1 (0)	
機 械 知 能 ・ 生 体 工 学 コース	57 (10)	16 (4)	38 (5)	0 (0)	3 (1)	
情 報 デ ザ イ ン ・ コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン 工 学 コース	70 (10)	26 (4)	38 (6)	2 (0)	4 (0)	
社 会 イ ン フ ラ 工 学 コース	42 (2)	10 (0)	28 (2)	0 (0)	4 (0)	
バ イ オ 食 品 工 学 コース	25 (6)	8 (2)	13 (4)	0 (0)	4 (0)	
地 域 マ ネ ジ メ ン ト 工 学 コース	18 (2)	6 (0)	11 (2)	0 (0)	1 (0)	
合 計	385 (45)	145 (21)	205 (22)	5 (0)	30 (2)	

() は女子で内数

(※1) 環境防災工学コース：社会環境工学科1名含む

進路状況【大学院博士前期課程】

区 分	修 了 予 定 者 数	進 学 者 数	就 職 者 数	自 営 業 ・ 帰 国	未 定 ・ そ の 他
プログラム					
機械電気工学プログラム	51 (5)	0 (0)	47 (4)	1 (1)	3 (0)
社会環境工学プログラム	25 (3)	1 (0)	22 (2)	2 (1)	0 (0)
情報通信工学プログラム	16 (1)	2 (0)	13 (1)	0 (0)	1 (0)
応用化学プログラム	36 (1)	2 (0)	33 (1)	0 (0)	1 (0)
マネジメント工学プログラム	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	130 (10)	5 (0)	117 (8)	3 (2)	5 (0)

() は女子で内数

産業別就職状況【学部】

区 分 コース	農 業 ・ 林 業	漁 業	砂 利 採 取 業 ・ 鉱 業 ・ 採 石 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	郵 便 業 ・ 運 輸 業	小 卸 売 業 ・ 売 業	保 険 業 ・ 金 融 業	物 品 賃 貸 業 ・ 不 動 産 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業	支 援 ・ 教 育 ・ 学 習 業	医 療 ・ 福 祉 業	複 合 サ ー ビ ス 業	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他 不 明	合 計
エネルギー総合工学コース				11	8	1	1	1		1	1	3					1		5		33
環 境 防 災 工 学 コース				12	1							9							11		33
先端材料物質工学コース					6				2							1		1	1		11
機械知能・生体工学コース				3	18		6	1	1			2						4	3		38
情報デザイン・コミュニケーション工学コース				2	6		21	1	1		1							2	4		38
社会インフラ工学コース				17	1				1			4							5		28
バイオ食品工学コース				2	6		2	1				2									13
地域マネジメント工学コース				3	3		1										1	1	2		11
合 計	0	0	0	50	49	1	31	4	5	1	2	20	0	0	0	1	2	8	31	0	205

産業別就職状況【大学院博士前期課程】

区 分	農 業 ・ 林 業	漁 業	砂 利 採 取 業 ・ 鉱 業 ・ 採 石 業	建 設 業	製 造 業	熱 供 給 ・ 水 道 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 道 業	情 報 通 信 業	郵 運 ・ 便 輸 業	小 卸 売 業 ・ 売 業	保 険 業 ・ 金 融 業	物 品 賃 貸 業 ・ 不 動 産 業	技 術 研 究 ・ 学 術 研 究 ・ 専 門 ・ サ ー ビ ス	サ ー ビ ス ・ 宿 泊 業 ・ 飲 食 業	サ ー ビ ス ・ 生 活 関 連 業	支 援 ・ 教 育 ・ 学 習 業	医 療 ・ 福 祉 業	事 務 ・ 複 合 サ ー ビ ス 業	サ ー ビ ス 業	公 務	そ の 他 不 明	合 計
プログラム																						
機械電気工学プログラム				2	27	8	4	1					4							1		47
社会環境工学プログラム				8									12						1	1		22
情報通信工学プログラム					4		7												2			13
応用化学プログラム				3	21	2	1			2			1				1	1	1			33
マネジメント工学プログラム					1												1					2
合 計	0	0	0	13	53	10	12	1	2	0	0	17	0	0	0	0	2	1	4	2	0	117